

食品の理化学的検査結果について (2023年度)

上田 将伍、末永 稜典、鷺野 美希*¹、廣田 梓*²、武田 亮*³、森永 由加里

Chemical Examination of Distribution Foods in Oita Prefecture, 2023

Shogo Ueda, Ryosuke Suenaga, Miki Washino, Azusa Hirota, Ryo Takeda, Yukari Morinaga

Key word : 化学的検査chemical examination, 収去食品distribution foods

はじめに

2023年度に県下5ブロックの食品衛生監視機動班が「2023年度大分県食品衛生監視指導計画」に基づいて収去した食品の理化学的検査結果について報告する。

材料及び方法

1 材料

2023年4月から2024年3月の間に収去・搬入された食品160検体について検査を実施した。

2 検査方法

収去検査

食品衛生法に定められた試験法に準拠した大分県検査実施標準作業書に基づき検査を実施した。

結果

収去検査及び行政依頼検査結果の検査項目毎の結果は表1のとおりである。

1 動物用医薬品

県産鶏卵、県産・輸入食肉、県産・輸入養殖魚介類60検体について検査を実施した。県産鶏卵3検体からエトキシキンが、県産養殖魚介類3検体からオキシテトラサイクリンが検出されたが、基準値未満であった。

2 残留農薬

県産野菜・果実30検体について検査を実施した。2検体からジノテフランが、1検体からクロラントラニプロール及びクロチアニジンが検出されたが、す

べて基準値未満であった。

3 食品添加物

3.1 漂白剤

県産・国産加工食品（果実酒、味噌等）10検体について検査を実施した。5検体から二酸化硫黄が検出されたが、すべて基準値未満であった。

3.2 保存料・甘味料

県産・国産加工食品（魚肉ねり製品、食肉製品及び漬物等）の30検体について保存料（ソルビン酸、デヒドロ酢酸、安息香酸及びパラオキシ安息香酸類）及び甘味料（サッカリンNa）の検査を実施した。7検体からソルビン酸、2検体からサッカリンNaが検出されたが、すべて基準値未満であった。

3.3 発色剤

保存料及び甘味料の検査を実施した30検体のうち、食肉製品10検体については同時に発色剤（亜硝酸根）の検査を実施した。6検体から亜硝酸根が検出されたが、すべて基準値未満であった。

4 特定原材料（アレルギー物質）

4.1 小麦

県産加工食品10検体について検査を実施し、1検体で陽性であった。

4.2 卵

県産加工食品10検体について検査を実施し、すべての検体で陰性であった。

4.3 乳

県産加工食品10検体について検査を実施し、すべての検体で陰性であった。

* 1 大分県北部保健所

* 2 大分県地域農業振興課

* 3 大分県西部保健所

表1 食品等の理化学的検査結果

検査項目	検体名	検体数	基準値等 超過数	結果の概要
取去検査				
動物用医薬品	県産鶏卵	10	0	3検体からエトキシキンを検出（基準値未満）
	県産鶏肉	6	0	すべて定量下限値未満
	輸入鶏肉	1	0	すべて定量下限値未満
	県産豚肉	14	0	すべて定量下限値未満
	輸入豚肉	7	0	すべて定量下限値未満
	輸入牛肉	2	0	すべて定量下限値未満
	県産養殖魚介類	10	0	3検体からオキシテトラサイクリンを検出（基準値未満）
	輸入養殖魚介類	10	0	すべて定量下限値未満
残留農薬	県産野菜・果実	30	0	2検体からジノテフラン、1検体からクロラントラニプロール及びクロチアニジンを検出（基準値未満）
漂白剤	県産加工食品	9	0	4検体から二酸化硫黄を検出（基準値未満）
	国産加工食品	1	0	1検体から二酸化硫黄を検出（基準値未満）
保存料 ^{注1} 甘味料	県産加工食品	25	0	7検体からソルビン酸、2検体からサッカリンNaを検出（基準値未満）
	国産加工食品	5	0	2検体からソルビン酸を検出（基準値未満）
発色剤	県産加工食品	6	0	2検体から亜硝酸根を検出（基準値未満）
	国産加工食品	4	0	4検体から亜硝酸根を検出（基準値未満）
特定原材料 (小麦)	県産加工食品	10	1	1検体で陽性
特定原材料 (卵)	県産加工食品	10	0	すべて陰性
特定原材料 (乳)	県産加工食品	10	0	すべて陰性
合計		160	1	

注1) 30検体のうち食肉製品10検体については、同一の検体を用いて発色剤の検査も実施しており、重複する検体数は合計値に含めない。